



泉の学び舎

# 池尻

令和5年度 学校だより 2月号

令和6年1月25日

世田谷区立池尻小学校

校長 間宮 英二

<http://school.setagaya.ed.jp/iri/>

## 当たり前の優しさ

校長 間宮 英二

本を読んでいて、次のような話が目にとまりました。

福澤諭吉の子どもの頃の話です。諭吉の家に、近所に住む一人の身寄りのない女性がよくやってきていたそうです。諭吉の母親は、その人に食事の世話をしあげたり、髪の毛についたシラミを取ってあげたりするなどの世話をしていたそうです。母親のつけたシラミを潰すのが、諭吉の役目でした。ある時、「気分が悪い」と言って役目をさぼろうとした諭吉に対し、叱るでもなく母親は独り言のようにつぶやいたということです。「ここに来るのは、シラミをとってもらおうと気持ちがよいからでしょう。しかし、その人は自分ではできない。できる人ができない人にしてあげる、それは当たり前だと思うのだけれど…。」この母親の言葉に諭吉は、目が覚まされる思いがしたということです。「人に優しくしなさい。」と、道徳的に押しつけるのではなく、「人に優しくするのは当たり前ですよ。」と、諭したところに母親の諭吉に対しての思いが表れています。教育で大事なものは、その子にとっての当たり前の価値基準をつくることだと、筆者は言っています。私も同じように強く感じます。

能登半島地震では、多くの方々が犠牲になり、今も苦しい生活を強いられている方がたくさんいます。能登へは、たくさんの方々からの支援が集まると共に、石川産の物の購入を通して、応援しようという動きも見られています。日本各地から石川を応援しようという気持ちが高まっていることは、能登の方々からすると励みになっているのではないのでしょうか。災害が発生して間もなくのこと、このようなニュースを目にしました。断水が続き、水を自由に使うことができずに多くの人が苦労している中、同じように災害に遭った自宅に井戸のある家庭の人が、近隣の皆さんに井戸を開放しているという話です。そして、このように言っていたのです。「井戸は涸れてもいいのです。災害に遭ったみんなが少しでも助かれば。」ご自身も災害に遭われて、辛い生活を余儀なくされています。しかし、その方は、自分だけが水を使うことを選ぶのではなく、井戸が涸れてしまっても、みんなのためになることを選んだのです。この方も、自分の損得を考えるのではなく、人に対してこのように振る舞うことが当たり前と考えているのでしょう。

3学期が始まり、一か月が経ちました。子どもたちはいろいろな場面ですてきな笑顔を見せてくれています。登校時、子どもたちのこんな姿をよく目にします。兄弟ではないのですが、高学年の子と低学年の子が楽しそうに手をつないで歩いてくるのです。また、手をつなぐだけでなく、肩を組んで歩いてくる子たちもいます。「本当のお兄ちゃん、お姉ちゃんみたいだね。」という、「うん。」と、返事をくれます。とても嬉しそうです。高学年の子は、手をつながなければならぬからつないでいるのではないはずです。つながりたいから、つないでいるのでしょう。「ねばならぬ」の気持ちではなく、自然とそういう気持ちになっているのです。休み時間には、高学年の子たちがしているサッカーや鬼ごっこに、低学年の子が混ざって遊んでいることも多くあります。高学年の子どもたちの遊び方を見ていると、時には真剣に動き、時には加減して動くような姿が見られます。これも遊ばないといけないから一緒に遊んでいるのではなく、それが当たり前だから遊んでいるのでしょう。

私は「優しさ」は、人の大きな力になると考えています。その「人に対しての優しさ」を池尻小学校の子どもたちが、当たり前と思えるよう、教職員一同頑張っていきます。これからもご支援とご協力よろしくをお願いします。

## 2月の生活指導目標「めあてをもって最後までがんばろう」

生活指導部

2月1日から数えて今年度の登校日が残り36日となりました。3学期の最初の授業で子どもたちに、1月「行く」2月「逃げる」3月「去る」というように3学期はあっという間に過ぎていくので、学校で過ごす1日1日や各教科の時間がとても大切だという話をしました。学期のはじめ、どのクラスでも子どもたちそれぞれに学習や生活のめあてを決めて、それが達成できるように指導をしています。2月の生活指導目標「めあてをもって最後まで頑張ろう」は、そんな子どもたちに最後までしっかり頑張ってもらいたいという願いを込めて、立てました。

3学期は1年のまとめであります。次の学年に上がるための準備の期間でもあります。1年を振り返り、学校生活の中でめあてに沿った学習や行動が出来たかなど、ご家庭でも話題にしていいただけたらと思います。



## 人格の完成をめざして

### やりぬく心

学校では、「生活目標」「保健目標」「給食目標」など、様々なことについて目標があり、この目標達成に向けて生活することを勧めています。

また、それだけではなく、自分で「今日は、これを頑張りたい」という目標に向かって日々努力を続け、最後までやりぬく心の強さを育てていきたいと考えています。

## クラブ活動について

特別活動部

4年生からクラブ活動が始まります。クラブ活動は、他学年との交流を深めたり、自分が興味のあることを高めたりと、教室ではできない貴重な学びの場です。

さて、来年度入部する3年生を対象に、クラブ活動を知ってもらうため、以下の日程でクラブ見学と体験の機会を設けました。

1月23日（火）6校時 クラブ見学

2月13日（火）6校時 クラブ体験

クラブ見学では、すべてのクラブを見学します。その後二つのクラブを選び、体験します。来年度のクラブ活動への期待が膨らむことを願っています。



## 避難訓練（同時刻一斉下校訓練）について

生活指導部

2月の避難訓練は、「台風などの気象警報発令時、同時刻に一斉且つ安全に下校する必要が生じた」という想定の下、同時刻に一斉に下校するという訓練をします。いつもの集団下校とは違い、地区班で集まったの下校はせず、各クラスで廊下に整列して昇降口まで担任が引率した後、各自で下校するという今年度初めての取り組みです。そのため、「おかしもち」の約束を徹底し、昇降口から出た後は速やかに下校するように各クラスでしっかり指導をしていきます。また、児童一人ひとりが自分の通学路を守って素早く安全に下校できるように、各地区担当の教員が、下校中の児童の見守りをします。

学校では、訓練の前に必ず各クラスで内容について指導をしますが、ご家庭の方でも「おかしもちの約束を守り、速やかに帰る」ということについて話していただき、避難時に冷静に行動ができる子ども達を共に育てていけたらと思います。

## 4年生

4年担任

1月12日(金)世田谷区中央図書館と同じ施設にあるプラネタリウムに行ってきました。4年生に「プラネタリウム移動教室」と位置付けられ、学校の外で学習する機会を設けていただいています。

施設の中に入ってみると、池尻小学校の校庭が映し出され、学校から星を見ているような感覚になりました。宇宙には、こんなにたくさんの星があるのだということに児童たちは驚きの声を上げていました。カシオペア座や冬の大三角などについても見付け方や特徴を教えてもらい、貴重な学習になりました。宇宙の不思議をプラネタリウムで体験し、宇宙への興味を引き出してくださいました。

今回のプラネタリウム鑑賞教室を通して、空に見える天体などを「あれはなんだろう?」「きっとこうなんだろう」と考えるきっかけになってくれればと思います。

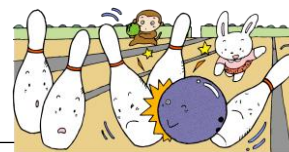


## 池尻フェスティバルについて

特別活動部

池尻フェスティバルは、6年生から1年生を縦割りした班のメンバーで遊びを企画・運営したり、それぞれの班の遊びを楽しんだりする活動です。遊びを考えるにあたって「どんなものを準備しよう?」、「この仕事はどのように分担したらいいだろう?」といった話し合いをもち、計画を進めていきます。

異学年で交流することで、それぞれの学年のアイデアを生かして、みんなが楽しめる活動をつくっていきます。また、もうすぐ卒業する6年生に替わって5年生が中心となって縦割り班をリードすることも、池尻フェスティバルから始まります。目標に向かって取り組むことや、互いの意見や思いをつなげて形にしていくことの大切さを次の学年へと引き継いでほしいと思います。



## 学習用タブレット端末の活用について

ICT担当

世田谷区では授業の改善、一人ひとりに応じた学びを実現することを目的として一人1台の学習用タブレット端末が児童に貸与されています。学習用端末を活用することで、これまでよりも児童が自分の興味・関心によって学習を進めていくことや、多様な児童の考えを頻繁に交流したりしていくことが実現していきます。今までは授業ではたくさん発言する児童や活発に自分の考えを述べる児童ばかりが中心となって授業が進むこともありましたが、なかなか意見を伝えられない、言いにくい児童も自分の思いを授業で表現しやすくなり、活躍の幅が広がってきました。一方で、紛失や不適切な使用に伴うトラブルも区内では聞かれます。

休み時間など教室を離れるときの置き場所を決める、カメラ機能については授業中の使用に留め、プライベートでは使わない、学習用タブレット端末を他人に貸し借りはしない、といったことについてルール の 定着を図っていきます。動画も同様です。

これからの時代に必要とされる情報活用能力の育成を目指しつつ、使い方のルール・マナーが定着していくように指導していきますので、ご家庭におかれましてもご協力お願いいたします。

### 学習用タブレット端末使い方

ご家庭でも子ども達が、正しく使用できるよう、お声掛けください。

\*登下校時には、ランドセルに入れる。

\*学習に関係ないことで使用しない。

• 授業や学習に関係すること

• 写真や動画は、担任や担当の許可が必要

• 家庭で遊びに使うことは禁止

\*タブレットの貸し借りはしない。

\*家庭で充電をする。